

< 地域ネットワーク部会：活動報告および今年度事業計画 >

活動報告

1．下記の4つの目的を制定した

地域連携クリティカルパスの作成（胃、大腸、肺、肝、乳がん）
病理診断ネットワークの構築（離島、本島、拠点病院間）
宮古医療圏、八重山医療圏及び北部医療圏のがん医療の再考
在宅がん医療の普及

2．沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、病院別、臓器別の手術数の調査を行った。さらに、4拠点病院の地域患者カバー率を出した。

3．病理診断のネットワーク構築のため、離島の現状調査を行った。

術中迅速病理診断の件数は、県立宮古病院・県立八重山病院からそれぞれ2か月に1回程度で、合わせても月に1回程度であり、病理医についても不足している状況ではあるが、件数が少なく大きな負担とはなっていないことから、現状では、テレパソロジーのニーズは安定している。

4．谷水班（全国のがん診療連携拠点病院において活用可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発）第4回研究班会議に参加し、情報収集を行った。

日時：平成20年11月22日（土）15：30～18：30

場所：大宮ソニックシティ

5．「我が国に多いがん（胃癌、大腸癌、肺癌、肝臓癌、乳癌）」の院内クリティカルパスの整備のため、がん種毎にワーキンググループを設置した。

今年度事業計画

1．地域連携クリティカルパス作成のタイムテーブルの作成。

2．沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、病院別、臓器別の症例数を調査する。さらに、がん拠点病院の地域患者カバー率を出す。

3．今年度中に、各拠点病院における5大がん（胃、大腸、肺、肝、乳癌）の院内クリティカルパスの作成ないしは改訂を行い、確実に運用を開始する。

4．病理診断ネットワーク構築のため何が必要かについて、調査を行う。

5．谷水班（全国のがん診療連携拠点病院において活用可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発）に本部会委員を送り、情報収集を行う。

第2回沖縄県がん診療連携協議会 提案事項3 <地域ネットワーク部会>

事業名	『地域連携クリティカルパス作成のための情報収集』	
提案者名	沖縄県がん診療連携協議会 地域ネットワーク部会	
連絡先	琉球大学医学部附属病院がんセンター T E L : 098-895-1368 F A X : 098-895-1497	
事業概要	<p>【提案の目的】 質の高い地域連携クリティカルパス作成のため、全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発研究班(谷水班)などに人を送り、最新の情報収集を行う。また、広島県の乳がんネットワークプロジェクトや富山方式、千葉方式などの研究を行う。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集時の移動費の補助 ・関連学会へ参加するための移動費の補助 <p>【効果】 患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を目指して、地域の病院や診療所と協力して「地域連携クリティカルパス」を活用することで、より良い医療を提供することができる。</p>	
	目標	
	事業費	

地域ネットワーク部会

< 委員 >

沖縄県 北部福祉保健所 健康推進班 :	国吉 秀樹 (保健総括兼健康推進班長)
北部地区医師会病院 :	大西 弘之 (生理検査室室長、消化器内科)
沖縄県立中部病院 :	本村 和久 (内科医長、総合内科)
那覇市立病院 :	宮里 浩 (外科部長、消化器外科)
琉球大学医学部附属病院 事務部 :	
琉球大学医学部附属病院 :	平安 恒男 (第二外科講師、呼吸器外科)
同上 :	増田 昌人 (がんセンター長)

< 目的と方向性 >

1. 地域連携クリティカルパスの作成 (胃、大腸、肺、肝、乳癌)
2. 病理診断ネットワークの構築 (離島、本島、拠点病院間)
3. 宮古医療圏、八重山医療圏及び北部医療圏のがん医療の再考
4. 在宅がん医療の普及

< 今年度の事業計画 >

1. 地域連携クリティカルパス作成のタイムテーブルの作成。
2. 沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、病院別、臓器別の症例数を調査する。
さらに、がん拠点病院の地域患者カバー率を出す。
3. 今年度中に、各拠点病院における5大がん (胃、大腸、肺、肝、乳癌) の院内クリティカルパスの作成
ないしは改訂を行い、確実に運用を開始する。
4. 病理診断ネットワーク構築のため何が必要かについて、調査を行う。

各都道府県知事 殿

厚生労働省健康局長

がん診療連携拠点病院の整備について
以下省略
がん診療連携拠点病院の整備に関する指針

I がん診療連携拠点病院の指定について
(省略)

II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

1 診療体制

(1) 診療機能

[1] 集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供

(省略)

[2] 化学療法の提供体制

(省略)

[3] 緩和ケアの提供体制

(省略)

[4] 病病連携・病診連携の協力体制

(省略)

ウ 我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパス(がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備すること。

エ ウに規定する地域連携クリティカルパスを活用するなど、地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該がん患者に関する共同の診療計画の作成等を行うこと。

[5] セカンドオピニオンの提示体制

(省略)

III 特定機能病院を地域がん診療連携拠点病院として指定する場合の指定要件について

(省略)

IV 都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について

(省略)

4 都道府県がん診療連携協議会を設置し、当該協議会は、次に掲げる事項を行うこと。

(省略)

(5) 当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有すること。また、我が国に多いがん以外のがんについて、地域連携クリティカルパスを整備することが望ましい。

V 既指定病院の取扱い、指定・指定の更新の推薦手続等、指針の見直し及び施行期日について

(省略)

がん診療連携拠点病院の整備に関する指針
(定義の抜粋)

1 我が国に多いがん

肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。

2 クリティカルパス

検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。

(省略)

5 地域連携クリティカルパス

がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。

(省略)

沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事前打ち合わせ

日時：平成20年 9月10日(水) 17:00～
場所：琉球大学医学部附属病院 管理棟2階 小会議室

打ち合わせ内容

1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶
2. 各委員自己紹介
3. がん対策基本法について
4. がん対策推進基本計画について
5. 沖縄県がん診療連携拠点病院について
6. がん診療連携拠点病院の整備に関する指針(第0301001号厚生労働省健康局長通知)読み合せ
7. 部会でやるべき仕事の検討
 - 地域連携クリティカルパスの作成(胃、大腸、肺、肝、乳がん)
 - 病理診断ネットワークの構築(離島、本島、拠点病院間)
 - 宮古医療圏、八重山医療圏及び北部医療圏のがん医療の再考
 - 在宅がん医療の普及
8. 地域連携クリティカルパスを作成するための準備をどうするか
 - 地域クリティカルパス作成タイムスケジュール(案)
 - 情報収集・分析をどうするか
 - 沖縄県からどういう情報を得るか
9. メーリングリストの作成(資料7)
10. 部会の委員にはどういう人が必要か
11. 次回の開催日程
12. その他

沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事前打ち合わせメモ

- [日 時] 平成20年9月10日(水) 17:00 ~ 18:30
- [場 所] 管理棟2階 小会議室
- [出席者] 本村和久(沖縄県立中部病院)、宮里浩(那覇市立病院)、平安恒男(琉球大学医学部
附属病院第二外科)、増田昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター)
- [陪席者] 仲本奈々(琉球大学医学部附属病院がんセンター)

[打ち合わせ事項]

1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶
協議内容に先立って、琉大病院がんセンター長増田より挨拶があった。
2. 各委員自己紹介
初部会に当たり、各委員がそれぞれ自己紹介を行った。
3. がん対策基本法について
琉大病院がんセンター長増田より、がん対策基本法についての説明があり、がん対策を総合的かつ計画的に推進していくために、国・県が連携していくことを確認した。
4. がん対策推進基本計画について
引き続き、増田よりがん対策推進基本計画について説明があり、重点的に取り組むべき事項を委員全員で確認した。
5. 沖縄県がん診療連携拠点病院について
琉大病院がんセンター長増田より沖縄県がん診療連携拠点病院についての説明があり、関係機関との連携を強化し、相互に支援していくことが全会一致で承認された。
6. がん診療連携拠点病院の整備に関する指針の読み合せ
委員全員で指針の読み合わせを行い、部会の役割を確認した。
7. 部会でやるべき仕事の検討
我が国に多いがん(胃癌、大腸癌、肺癌、肝臓癌、乳癌)の地域連携クリティカルパス作成
病理診断ネットワークの構築(離島、本島、拠点病院間) 宮古医療圏、八重山医療圏及び北部
療圏のがん医療の再考 在宅がん医療の普及を目的とすることが承認された。
8. 地域連携クリティカルパスを作成するための準備をどうするか
他の都道府県がん診療連携拠点病院の動向調査
他の都道府県がん診療連携拠点病院の地域連携クリティカルパスに関する情報が少ないため、今後関連
学会に参加し情報収集を行うことを検討する旨の説明があった。
院内クリティカルパスの作成
琉球大学附属医学部附属病院で我が国に多いがん(胃癌、大腸癌、肺癌、肝臓癌、乳癌)の院内クリ
ティカルパスを改良し整備することが報告され、地域がん診療連携拠点病院である3拠点病院においても
院内クリティカルパスを作成することが承認された。
沖縄県からどういう情報を得るか
主要病院の患者数(がん種毎)、手術件数(がん種毎)、死亡数(がん種毎)の情報を取得して
ほしいとの要望があり、沖縄県から情報が取得でき次第報告する旨の説明があった。
9. メーリングリストの作成
連絡先登録用紙を配布して、メーリングリストを作成することが承認された。
10. 部会の人員にはどういう人が必要か
患者等はこれから部会の中で人選していくことが承認された。
11. 次回の開催日程
月1回の部会開催を目指し、次回より事務係とスケジュール調整を行い日程を確定していくことが承認され
た。

平成20年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日時：平成20年 11月5日(水) 17:00～

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

打ち合わせ内容

1. 委嘱状授与
2. 沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事前打ち合わせメモ
3. 部会の目的及び部会でやるべき仕事の再検討について
4. 20年度地域ネットワーク部会事業計画スケジュール(案)
5. 地域連携クリティカルパス作成タイムスケジュール(案)
6. 地域連携クリティカルパス作成の基礎資料の確認(沖縄県病院機能調査)
7. 第2回沖縄県がん診療連携協議会への提案事項の検討
8. 部会委員連絡先一覧
9. 次回の開催日程について
10. その他

平成20年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨

日時：平成20年 11月5日(水) 17:00~18:30

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：6名

出席者：6名

大西弘之(北部地区医師会病院) 本村和久(沖縄県立中部病院) 宮里浩(那覇市立病院)

平安恒男(琉球大学医学部附属病院第二外科) 増田昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター)

陪席者：仲本奈々(琉球大学医学部附属病院がんセンター)

[協議内容]

1. 委嘱状授与

琉大病院がんセンター長増田より、委員全員に委嘱状が授与された。

2. 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会事前打ち合わせメモについて

沖縄県がん診療連携協議会がん登録プレ部会メモが承認された。

3. 部会の目的及び部会でやるべき仕事の再検討について

増田がんセンター長より平成20年9月30日に行われた沖縄県がん診療連携協議会にて承認された目的について、資料2に基づき説明があった。地域ネットワーク部会の目的1である『地域連携クリティカルパスの作成』を優先的に行い、各拠点病院それぞれで作成するのではなく、4拠点病院で作成し共有することが承認された。また、地域連携クリティカルパス作成のためには、関連学会に参加し情報収集が必要であり、県に対して予算化を提案したいとの意見があった。

病理診断ネットワーク構築については、離島等ニーズの高い地域の現状調査(臓器別病理組織検査数、臓器別術中迅速診断検査数)が必要という意見があった。また、病理診断ネットワーク構築のため「必要なコンピュータ機器整備の補助」、各医療機関で病理医を十分に配置することが困難なことから「不足している病理医の補助となる細胞検査士の育成・研修の補助」を提案したいとの意見があった。

部会委員として、沖縄県職員を加える必要があるとの意見があり、今後部会の中で人選していくことが承認された。

4. 20年度地域ネットワーク部会事業計画スケジュール(案)

がんセンター長増田より資料に基づき説明があった。今年度中に各拠点病院において5大がんの院内のクリティカルパスを作成することが承認された。

5. 地域連携クリティカルパス作成タイムスケジュール(案)

がんセンター長増田より資料に基づき説明があった。スケジュール案に基づき進めることが承認された。

6. 地域連携クリティカルパス作成の基礎資料の確認(沖縄県病院機能調査)

沖縄県病院機能調査の結果をもとに、病院別・臓器別の症例数を調査し、現状把握を優先的に行うことが承認された。

7. 第2内科沖縄県がん診療連携協議会への提案事項の検討

協議事項3の意見を踏まえた上で第2回の沖縄県がん診療連携協議会に対して前述した件を提案することが承認された。

8. 部会委員連絡先一覧

地域ネットワーク部会委員の連絡先一覧が確認された。

9. 次回開催日程について

次回は12月3日(水)に沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会を行うことが承認された。

平成20年度地域ネットワーク部会事業計画（スケジュール）案

10月	11月	12月	1月	2月	3月
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1. 事業計画(1)</p> <p>(1) 地域連携クリティカルパス作成のタイムテーブルの作成。 (地域連携クリティカルパスタイムラインを参照)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2. 事業計画(2)</p> <p>(2) 沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、病院別、臓器別の症例数を調査する。さらに、がん拠点病院の地域患者カバー率を出す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: 80%; margin-left: auto;"> <p>3. 事業計画(3)</p> <p>(3) 今年度中に、各拠点病院における5大がん(胃、大腸、肺、肝、乳癌)の院内クリティカルパスの作成ないしは改訂を行い、確実に運用を開始する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4. 事業計画(4)</p> <p>(4) 病理診断ネットワーク構築のため何が必要かについて、調査を行う。</p> </div>					

今年度の事業計画

- (1) 地域連携クリティカルパス作成のタイムテーブルの作成。
- (2) 沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、病院別、臓器別の症例数を調査する。さらに、がん拠点病院の地域患者カバー率を出す。
- (3) 今年度中に、各拠点病院における5大がん(胃、大腸、肺、肝、乳癌)の院内クリティカルパスの作成ないしは改訂を行い、確実に運用を開始する。
- (4) 病理診断ネットワーク構築のため何が必要かについて、調査を行う。

【地域ネットワーク部会】 地域連携クリティカルパス作成タイムライン

20年 10月	11月	12月	21年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>(1) 情報収集・院内クリティカルパスの作成</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 他の都道府県がん診療連携拠点病院の動向調査 ② 関連学会に参加し情報収集 ③ 5大がんの院内クリティカルパスを作成 </div>						<p>(2) 地域連携クリティカルパス(案)の作成</p>					
10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>(3) 意見聴取</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① 主要病院に対して意見を求める。 国立沖縄病院、県立北部病院、南部医療センター、宮古病院、八重山病院、沖縄赤十字病院、中頭病院、中部徳洲会病院、ハートライフ病院、浦添総合病院、豊見城中央病院、那覇西クリニックなど</p> </div>			<p>(4) 作成完成予定</p>			<p>(5) 仮運用開始</p>					

平成20年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日時：平成20年 12月3日(水) 16:00～

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

報告事項

1. 平成20年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨(資料1)
2. 「全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発」班 谷水班・第4回研究班会議の報告 (増田・仲本参加)
日時：平成20年11月22日(土) 15:30～18:30
場所：大宮ソニックシティ6階会議室602号室
谷水班Web <http://www.shikoku-cc.go.jp/local/tanimizu.html>

議題事項

1. 委嘱状の授与
2. 地域ネットワーク部会長・副部会長の選出
3. 部会の目的及び部会でやるべき仕事の再検討について
4. 20年度地域ネットワーク部会事業計画スケジュール
5. 地域連携クリティカルパス作成タイムスケジュール
6. がんにおける病診連携に関するアンケート調査について(案)
7. 第2回沖縄県がん診療連携協議会への提案事項の検討
8. 部会委員連絡先一覧
9. 次回の開催日程について 毎月第一水曜日
10. その他

がんの地域医療連携アンケート

1. 先生の年齢は ~30 31~40 41~50 51~60 61~70 71~
 2. 主な勤務先 (一つだけ選択)
診療所 病院(がん診療連携拠点病院以外) がん診療連携拠点病院
その他()
 3. 主な診療圏は 南部 中部 北部 宮古 八重山
その他() (一つだけ選択)
-
1. がん患者の診断を行うことがありますか。 はい いいえ
 2. がん治療の経験はありますか。
はい 以前所属していた施設で経験がある いいえ
- どのようながん種の患者さまを診ていますか? (複数回答可)
胃がん 大腸がん 肺がん 乳がん 肝がん
前立腺がん 子宮がん その他()
3. がん術後フォローアップの病診連携に興味がありますか。
はい いいえ その他()
 4. 検査、診断可能な項目を教えてください。(複数回答可)
一般血液検査の迅速検査
可能 可能でない (何日後に結果が出ますか: 日後)
腫瘍マーカー 内視鏡検査 X線
エコー CT MRI マンモグラフィ その他()
 5. どの程度の状態のがん患者なら逆紹介で受け入れることが可能ですか。(複数回答可)
状態の良い、術後フォローのみの患者
状態の良い、術後補助化学療法患者(経口抗癌剤)
状態の良い、術後補助化学療法患者(注射抗癌剤)
状態の良い、進行再発がんの化学療法(経口・注射抗癌剤)
終末期の患者(緩和ケアの患者)
受け入れられない
その他()
 6. 術後フォローのがん患者を受け入れた場合の不安な点 (複数回答可)
定期の診断・治療
緊急時の対応
化学療法の副作用への対応
患者のメンタルケア
その他()
 7. 在宅医療、往診を行っていますか。
はい いいえ
 8. 終末期がん患者を在宅で看取ったことがありますか。
はい いいえ

9. 病診連携の勉強会として興味のある項目をお教えてください。(複数回答可)
ア がんの病態 手術療法 放射線療法 化学療法 支持療法 緩和ケ
その他()

10. 4 疾患5 事業で、がん以外の領域で興味がある分野は(複数回答可)
脳卒中 急性心筋梗塞 糖尿病
救急医療 災害医療 僻地医療 周産期医療 小児医療

11. がんの地域連携、がん診療連携拠点病院についてご意見等をお書きください。

12. 沖縄県がん診療連携協議会から勉強会等案内させていただいてよろしいでしょうか。
はい 場合による() いいえ

所属医療機関： _____

ご芳名： _____

ご専門： _____ E-mail： _____

平成20年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨

日時：平成20年 12月3日(水) 16:00~18:00

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：7名

出席者：7名

国吉秀樹(北部福祉保健所) 大西弘之(北部地区医師会病院) 本村和久(沖縄県立中部病院)

宮里浩(那覇市立病院) 平安恒男(琉球大学医学部附属病院第二外科)

増田昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター)

陪席者：仲本奈々(琉球大学医学部附属病院がんセンター)

[報告事項]

1. 平成20年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨
平成20年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨が承認された。
2. 「全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携クリティカルパスモデル開発」班
谷水班・第4回研究会議の報告(増田・仲本参加)
増田委員より参考資料に基づき説明があり、班会議での地域連携クリティカルパスモデルの開発について報告があった。

[協議事項]

1. 委嘱状授与
琉大病院がんセンター長増田より、国吉委員に委嘱状が授与された。
2. 地域ネットワーク部会長・副部会長の選出
部会長の業務として、協議会で部会の報告・提案を行うことが承認された。協議の結果、部会長 平安恒男(琉球大学医学部附属病院第二外科)、副部会長 国吉秀樹(北部福祉保健所)が選出された。
3. 部会の目的及び部会でやるべき仕事の再検討について
増田委員より目的と方向性・今年度の事業計画について、資料2に基づき説明があった。地域ネットワーク部会の目的1である『地域連携クリティカルパスの作成』について、国吉委員より、すでに地域にある地域連携クリティカルパスも理解し、進めていくことが重要との意見があった。
本村委員より、病理診断ネットワーク構築のため、離島等ニーズの高い地域の現状調査の結果が報告された。件数は、県立宮古病院・県立八重山病院からそれぞれ2か月に1回程度で、合わせても月に1回程度であり、病理医についても不足している状況ではあるが、件数が少なく大きな負担とはなっていないことから、現状では、テレパソロジーのニーズは安定しており、事業自体は軌道に乗っているものと考えられるとの報告があった。
4. 20年度地域ネットワーク部会事業計画スケジュール
増田委員より資料に基づき説明があった。スケジュールに基づき進めることが承認された。
5. 地域連携クリティカルパス作成タイムスケジュール
増田委員より資料に基づき説明があった。今年度中に各拠点病院において5大がんの院内のクリティカルパスを作成し、このたたき台を関連医療機関に意見を求め、修正していくことが承認された。
6. がんにおける病診連携に関するアンケート調査について(案)
沖縄県下の医療機関におけるがん診療について、医師会を通じてアンケート調査を行うことが承認された。アンケート項目については、次回部会で検討することとなった。

7. 第2回沖縄県がん診療連携協議会への提案事項の検討

協議事項3の意見を踏まえた上で第2回の沖縄県がん診療連携協議会に対しては、提案事項1のみを発案することが承認された。

8. 部会委員連絡先一覧

地域ネットワーク部会委員の連絡先一覧が確認された。

9. 次回の開催日程について

次回は1月14日(水)に第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会を行うことが承認された。